

敦賀市庁舎建設 基本計画策定委員会

第1回 会議録

開催日時 及び場所	平成29年12月18日（月）13:45から16:00まで 市庁舎 4階講堂
出席者	敦賀市庁舎建設基本計画策定委員会委員 17名 敦賀市庁舎建設基本計画策定市民ワークショップ参加者 17名 事務局 5名 基本計画・基本設計業務プロポーザル審査 最優秀提案者 4名 傍聴者 1名 計 44名
経緯	<p>渚上市長から、敦賀市庁舎建設基本計画策定委員会委員（以下委員）に対し、委嘱状を交付した。</p> <p>委嘱状交付式終了後、敦賀市庁舎建設基本計画策定市民ワークショップ（以下WS）との合同開催で開会した。</p> <p>開催にあたり、事務局並びに敦賀市庁舎建設基本計画・基本設計業務プロポーザル審査における最優秀提案者（株佐藤総合計画関西事務所 橋設計システム設計共同体）の紹介を行った。</p> <p>事務局から、敦賀市庁舎建設基本計画策定委員会設置要綱（以下要綱）の説明を行った。</p> <p>要綱に基づき、委員長及び副委員長の選任方法について委員に意見を伺ったところ、事務局一任との発言があったため、井上委員並びに中村委員をそれぞれ委員長並びに副委員長に選任する事務局案を提示した。</p> <p>両委員の就任について、各委員から異議の声が出なかったため、両委員が委員長並びに副委員長に就任した。</p> <p>就任した井上委員長の議事進行のもと、下記の議題について事務局から説明を行った。</p> <ol style="list-style-type: none">1 これまでの経緯について2 策定体制及び今後のスケジュールについて3 敦賀市庁舎建設基本構想（以下構想）について <p>3までの議題を終了後、参加者を2グループに分け庁舎見学を実施した。</p> <p>見学箇所 1階 窓口、トイレ・多目的トイレ 5階 議場、委員会室 廊下、階段、エレベーター</p>

	<p>防災センター 免震ピット</p> <p>庁舎見学終了後、各委員並びにWS参加者の代表から意見を頂戴した。</p>
質疑応答 設置要綱について	
WS参加者	委員会、WS並びに議会 市庁舎建設対策特別委員会の役割はそれぞれどのようなものか。
事務局	資料を準備しており、後ほど説明をさせていただきます。
質疑応答 議題1について	
事務局	資料No. 2について説明
WS参加者	資料中の基本構想の策定について、職員のみで策定を行う場合と事業者にと事務の一部を委託し策定を行う場合があると思うが、今回はどうされたのか。また、策定にかかった期間はどの程度か。
事務局	職員のみで策定を行った。また、策定にかかった期間は約四ヶ月である。
質疑応答 議題2について	
事務局	資料No. 3について説明
WS参加者	今回の庁舎建設に関して、議会の方で特別委員会が設置されたのはどのような経緯か。
事務局	庁舎建設事業が数十年に一度のものであり、事業規模が大きいことを鑑み、平成29年3月に市議会の判断で設置されたものである。
WS参加者	今後の開催予定について、委員会とWSはそれぞれ別個に開催予定であるが、合同で開催することを検討してもいいのではないかと。計画作りに意見を出したいということで参加しているが、委員会は3月までの開催、WSは3回で終了予定というのはバランスがとれていないのではないかと。
委員長	WSで出した意見をもとに、委員会としても議論を進めていかなければいけないことを認識している。現在示している日付はあくまで予定であり、WSでたくさんの意見が出て議論の整理がつかないということであれば、委員会の方で議論を決着させるということはず、事務局とも相談の上でWSの回数を増やすなどして、WSの意見、委員会の意見を固めていきたい。
WS参加者	今後のWSについて、議論はどういう形式で行われるか。 また、WSの場で議論を行う時間が足りなくなったら、どうするか。
事務局	4つの分科会が設置されているので、それぞれの分科会に分かれて議論を進めていく形式を想定している。第2回、第3回のWSで議論をする時間が足りないというのであれば、4月までには計画を策定しなければいけないというスケジュールもあるので、その日程も見ながら追加開催の相談をさせていただきたい。
委員長	要綱上、WSは委員長が必要に応じて招集をすることになっている。議論が尽くされていないという要望がWSの方から上がってくれば、事務局と相談し、招集を検討したい。
質疑応答 議題3について	
事務局	資料No. 4について説明

WS参加者	基本構想の34頁に記載されている財源の内容について、説明をいただきたい。
事務局	国の財政措置が受けられることを前提に概算として、試算したものである。新庁舎における機能の確定をした後で、内容についてより具体的な試算が可能と考えている。
WS参加者	新庁舎で想定されている10,000㎡という規模について、都市計画マスタープランに掲げるコンパクトシティという目標との整合が取れているのか、後日でいいので回答をいただきたい。
庁舎見学について	
引率	事務局
見学先	別紙 次第のとおり
所要時間	約30分
意見交換について	
委員	防災のキーワードに「冗長性」というものがある。平時でも機能し、非常時でもしっかり機能する庁舎であってほしい。
委員	職員が働きやすく市民のために頑張れる、時代にあった庁舎ができてほしい。
委員	庁舎見学の感想として、使用頻度の少ない会議室の有効利用ができないかと感じた。
委員	現庁舎がなくなることは寂しい。グローバル化によって外国人労働者や外国人観光客などへの対応が必要となると想定されるので、長期間使用する新庁舎にも、グローバル化への対応の想定が必要だと考える。
委員	構想に掲げるバリアフリーやユニバーサルデザインが取り入れられた、使いやすく人にやさしい庁舎になってほしい。
委員	基本構想に掲げる4つのテーマは、それぞれ独立しているのではなく、お互いに関係しあっているという印象を持った。皆さんと意見を交わして、より良い計画としていきたい。
委員	基本構想を読んだが、よくできていると思う。基本構想から更に練って、基本計画もいいものにしていきたい。
委員	市民サービスを提供していくなかで、業務継続を第一に考え、市民の皆様が安心していただける庁舎にしたいと考えている。最終的には市民の方に親しまれる庁舎になり、将来に引き継いでいける施設になるといいと考えている。
委員	庁舎見学をして、職員の執務スペースが雑然とし、書類に埋もれて作業している印象を受けた。新庁舎では収納スペースについても考える必要がある。
委員	庁舎見学をして、経年により使いづらくなっていることを実感した。新庁舎が長期間使用でき、市民や職員にとって使いやすいものになればと考えている。
委員	全体的に手狭な印象だが、特に1階の窓口関係の環境が気になった。
委員	基本構想についてよくできていると感じた。将来の推計人口の記載があるが、人口減少だけではなく世代別人口の構成比が変化することも大きな

	問題。高齢者の方や子ども、障害者にも配慮した庁舎づくりが必要と感じた。
委員	庁舎見学をして、職員の執務スペースが狭い印象を受けた。新庁舎の一階は職員がゆったりと仕事し、来庁する市民にとっても気持ちのいい庁舎になってほしい。
委員	来庁したときに、高齢者にとってやさしい庁舎になってほしいと考えているので、今後の会議では委員の皆様の意見も聞きながら議論していきたい。
委員	被災した自治体への調査で、被災時の拠点として庁舎が使えなかった場合の苦勞を聞いているので、一刻も早く庁舎が整備できるといい。また、庁舎の整備による施設面の向上だけではなく、そこで働く職員の意識も変化するような庁舎になることを期待している。
委員	コンパクトであっても多目的な庁舎を望む。また、市民が気軽に立ち寄って食事や懇談できるスペースがあるといい。
WS参加者	市民目線で、市民が立ち寄りやすく親しめる庁舎になってほしい。
WS参加者	現庁舎の通路が狭いなどの課題は新庁舎では解消されることを望む。新庁舎の計画でバリアフリーやユニバーサルデザインが取り入れられる際に、配慮が行き届かないということにならないよう、意見を出していきたい。
WS参加者	津波や川の氾濫などに対する対策を心配しているので、WSで意見を出していきたい。
WS参加者	新庁舎の整備について、合意形成に携われることを光榮に思っている。よりよい庁舎となるよう、WSでは意見を出していきたい。

今後の開催予定

第2回敦賀市庁舎建設基本計画策定委員会の開催予定

・・・平成30年 1月29日（月）

第2回敦賀市庁舎建設基本計画策定市民ワークショップの開催予定

・・・平成29年12月26日（火）